

第2回五法人ジョイント研修～職員向け研修～

2025,11,24(月祝)13:45～14:45

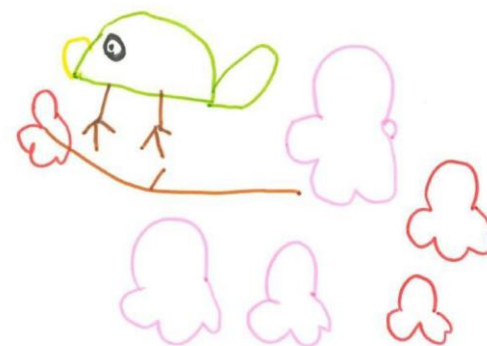
「強度行動障害のある方についての支援と方法」 ～標準的な支援によって人材(人員)不足の解消はできるのか～

社会福祉法人はる 福島龍三郎



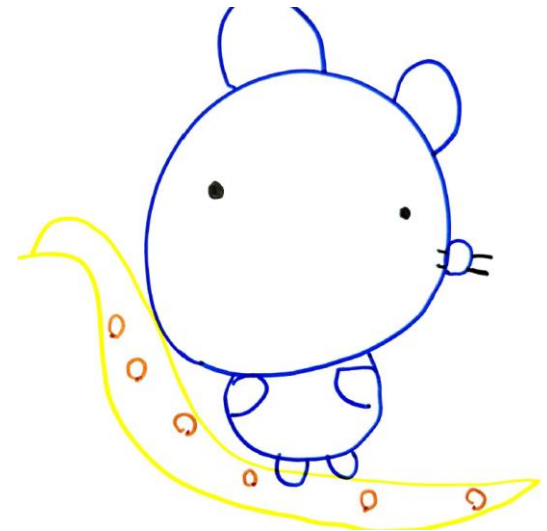
社会福祉法人 **はる**
Life Support HAL, SAGA

今日の予定



- ①標準的な支援の確認
- ②個別化ということ
- ③標準的な支援に必要なこと
- ④標準的な支援により人材（人員）不足は解消できるか
- ⑤標準的な支援だけでは人材（人員）不足は解消されない
- ⑥まとめ

①標準的な支援の確認



(参考) 強度行動障害を有する者への標準的な支援

(強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会報告書(令和5年3月30日)より)

○(中略)強度行動障害を有する者への支援にあたっては、知的障害や自閉スペクトラム症の特性など個人因子と、どのような環境のもとで強度行動障害が引き起こされているのか環境因子もあわせて分析していくことが重要となる。こうした個々の障害特性をアセスメントし、強度行動障害を引き起こしている環境要因を調整していくことが強度行動障害を有する者への支援において標準的な支援である。

課題となっている行動の例

- ・先の見通しが持てず何度も予定を確認する
- ・音に敏感で騒がしい部屋に入れない
- ・「拒否」が伝えられず他者を叩いてしまう など

本人の特性

自閉スペクトラム症や知的障害など個々の障害特性

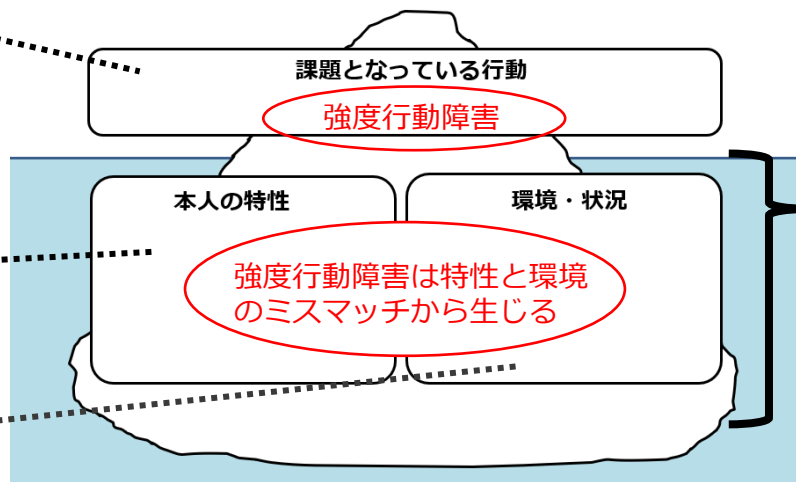
環境・状況

困り感やストレスの要因となっている環境や状況

冰山モデル

見えている行動だけに着目せず行動の背景を考えることが重要

* 強度行動障害支援者養成研修より



標準的な支援

障害特性を踏まえた*機能的アセスメントを行い、強度行動障害を引き起こしている環境を調整する

* 機能的アセスメント
課題となっている行動がどのような意味(機能)をもっているか調べる

アセスメントに基づく支援計画を立て、実施し、実施内容を評価して次の支援につなげる

予防的支援の重要性

(強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会報告書より)

- 予防的観点を含めて標準的な支援を行うことが必要
- 強度行動障害を引き起こさなくても良い支援を日常的におこなうことが重要
- 支援者、家族、教育等の関係者が、標準的な支援の知識を共有し、地域の中に拡げていくことが重要

(参考) 強度行動障害を有する者への標準的な支援

(強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会報告書(令和5年3月30日)より)

○(中略)強度行動障害を有する者への支援にあたっては、知的障害や自閉スペクトラム症の特性など個人因子と、どのような環境のもとで強度行動障害が引き起こされているのか環境因子もあわせて分析していくことが重要となる。こうした個々の障害特性をアセスメントし、強度行動障害を引き起こしている環境要因を調整していくことが強度行動障害を有する者への支援において標準的な支援である。

課題となっている行動の例

- ・先の見通しが持てず何度も予定を確認する
- ・音に敏感で騒がしい部屋に入れない
- ・「拒否」が伝えられず他者を叩いてしまう など

本人の特性

自閉スペクトラム症や知的障害など個々の障害特性

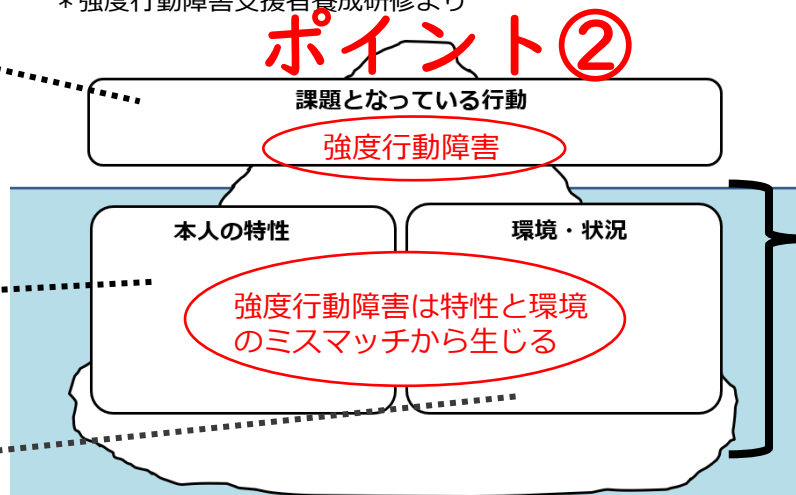
環境・状況

困り感やストレスの要因となっている環境や状況

冰山モデル

見えている行動だけに着目せず行動の背景を考えることが重要

* 強度行動障害支援者養成研修より



標準的な支援

障害特性を踏まえた*機能的アセスメントを行い、強度行動障害を引き起こしている環境を調整する

* 機能的アセスメント
課題となっている行動がどのような意味(機能)をもっているか調べる

アセスメントに基づく支援計画を立て、実施し、実施内容を評価して次の支援につなげる

予防的支援の重要性

(強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会報告書より)

○**予防的観点**を込めて標準的な支援を行うことが必要

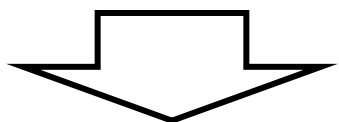
○強度行動障害を引き起こさなくても良い支援を**日常的におこなう**ことが重要

○支援者、家族、教育等の関係者が、標準的な支援の**知識を共有し、地域の中に拡げていく**ことが重要

「標準的な支援」のポイント①

標準的な支援とは…

「個々の障害特性をアセスメントし、強度行動障害を引き起こしている環境要因を調整していくことが強度行動障害を有する者への支援において標準的な支援である。」



一人ひとりに合わせた支援

「標準的な支援」のポイント②

標準的な支援の方法は…

○冰山モデルの考え方

→見えている行動だけに着目せず行動の背景を考える

○障害特性を踏まえ

→本人の障害特性に合った支援を行う

○機能的アセスメントを行い

→本人の行動の機能を考えて支援を行う

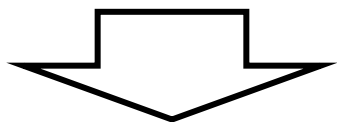
○環境を調整する

→本人を変えるのではなく環境を調整することが基本

「標準的な支援」のポイント③

予防的な支援の重要性

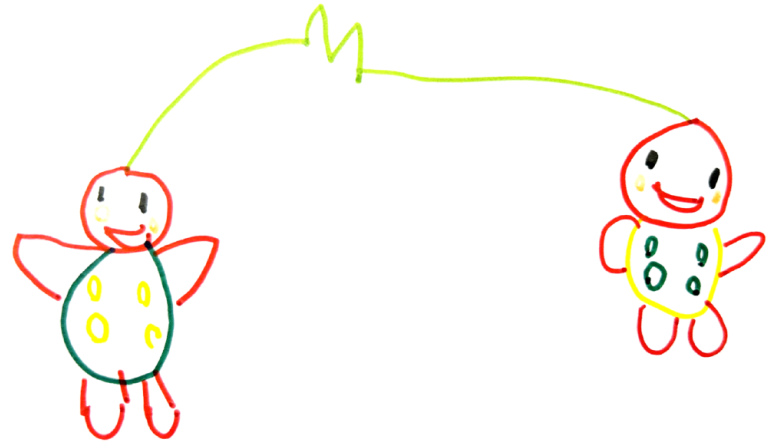
「強度行動障害を引き起こさなくても良い支援を日常的におこなうことが重要」



大変な状態になってから支援をするのではなく、大変な状態にならない支援をする

大変な状態になってから支援をすると本人も支援者もキツイ...

②個別化ということ

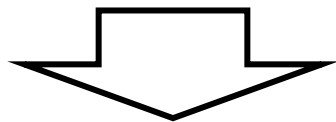


一人ひとりに合わせた支援

||

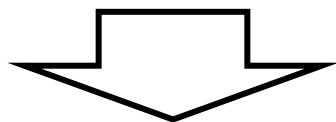
個別化

個別化はマンツーマンの支援
…ではない



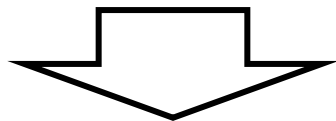
個別化により本人ができるだけ自立的
に動くことができることを目指す

個別化をすると集団活動ができない…ではない



個別化をしながら集団活動をするこ
とで、集団活動への参加意欲や適応が
増す

個別化は今以上に人手が必要
…ではない



大変な状態になってから後追いで支援
をするほうがずっと人手がいる
大変さを予防する支援を

③標準的な支援に必要なこと



○組織の方針

「標準的な支援」をやっていくという
方針を組織に伝えていく

- ・職員が同じ方向性で支援ができるように
- ・頑張る職員を孤立させない
- ・組織として協力して支援に取り組む
- ・外部や家族との連携をサポート

○職員が学ぶ機会

「標準的な支援」は学ながら身に付けていく

- ・強度行動障害支援者養成研修
- ・中核的人材養成研修
- ・その他の専門研修（ABA, TEACCH, PECS）
- ・地域の研修チームに参加することも職員育成

○物理的な工夫

本人にとって快適な環境は職員にとって支援しやすい環境

- ・必要な備品を揃える
- ・改修で本人と職員の負担を下げる

○外部からのスーパーバイズ

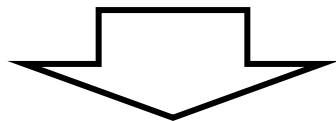
自分たちだけで考えても支援が
上手くいかないこともある

- ・スーパーバイザー（コンサル）の活用
- ・広域的支援人材の活用

④標準的な支援により人材
(人員)不足は解消できるか

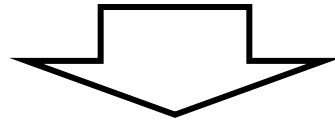


大変さの後追いにならない支援



難しい状態、激しい状態にならない
支援をしていくことで、職員に負担が
かかりすぎないことを目指す

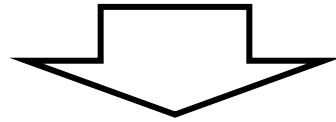
孤立しない支援



職員が同じ方針で支援をする、協力して支援をすることで職員が孤立しない

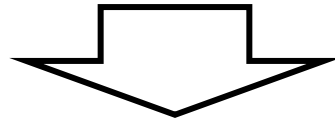
外部に相談できることで事業所が孤立しない

大変さが集中しない支援



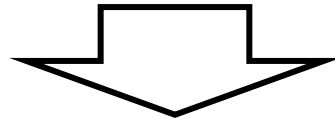
職人技による支援ではなく、支援手順書などを活用した統一した支援で誰もが入れる支援に
特定の職員に大変さが集中しない

ポジティブな支援



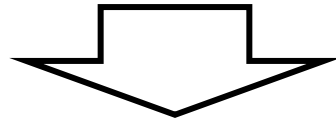
問題対処型の支援ではなく、ポジティブな支援をやっていくことで、職員のモチベーション維持、アップ

専門的な支援



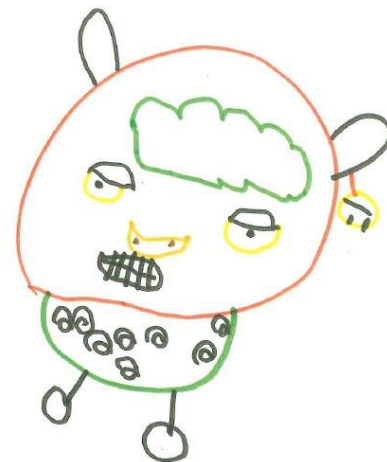
福祉の仕事の専門性を身に付けて
いくことで、仕事に対するプライドや
自信をつけていく

重度障害者支援加算の活用



職員の処遇改善や支援環境の改善
に活用することで、職員の待遇アップ
や負担軽減に

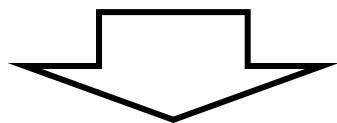
⑤標準的な支援だけでは人材
(人員)不足は解消されない



はるの経験から

強度行動障害のある方たちを受け入れる
グループホームを設立して…

3年間、管理職も含めて毎年10名程度の
離職を経験



「土台の築き直し」を！

○理念の再確認・浸透

法人が大切してしてきたことを確認し、
職員に伝えていく

- ・管理職で理念を再確認、自分たちの指針に
- ・理念の解説書を作って職員に伝わりやすく
- ・昭和な感じで理念の唱和も
- ・支援の基本的な考え方も整理して浸透

○「職員を大切にする」を大切に

「利用者を支える」ためには、「職員を支える」ことを法人の取り組みに

- ・スタッフアンケートを毎年実施
- ・評価の仕組みを再構築
- ・処遇の改善、稼ぎたいに応える
- ・「ふく便り」「理事長面談」

○支援環境を整える

職員が安心して支援に取り組むことができるように

- ・ホームにおいてミーティングができる体制
- ・コンサルの導入
- ・建物の改修、備品整備
- ・他部署、他機関との連携

⑥まとめ



障害行動強度 養成支援者 テキスト

強度行動障害支援者養成研修「基礎研修・実践研修」テキスト 「暮らし」を支える 強度行動障害のある人の

編集

牛谷正人
肥後祥治
福島龍三郎

監修

特定非営利活動法人
全国地域生活支援
ネットワーク

中央法規





強度行動障害 のある人を支える ヒントとアイデア





ライオンを飼いたい
障害者支援の手前
にあるもの

**支援者は、
もやもやしながら育っていく！**

障害福祉現場の「あるある」「もやもや」から見てくる支援の本質とは何か？
2人の著者が考え続けてだした“支援”との向き合い方

支援の
結論が
出ないとき

利用者・
家族との
かかわり方

支援者
だって大切に
されたい

など

中央法規

